

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2011 5.10
No.1026

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

機関紙コンクール
5月20日締切り
募集中です

第82回
メーデー

すべての労働者の賃上げと 雇用確保で内需拡大を



プラカードを手にデモ行進



①尾張中部地区・300人
②尾張東地域・120人



被災地の救援・復興に力あわせよう

第82回メーデーは、名古屋市中区・白川公園で開かれた愛知県中央メーデーの4000人をはじめ、県下全体で5000人を超える労働者が参加しました。

「東日本大震災の救援・復興に力を合わせよう」「危険な浜岡原発は直ちに停止せよ」「すべての労働者の賃上げと雇用確保で内需拡大を」とアピール。中央メーデーには、被災地支援にとりくむNPO法人代表も登壇し、被災者の笑顔がとりもどせるまでの、長い支援を訴えました。その後3コースに分かれてデモ行進が行われました。

尾張東地域メーデーには、保育士部会が全園から震災支援のメッセージを書き込んだタスキを手に参加。また、東三河メーデーに参加した、豊橋市職労青年部長の宮道誠さんは、「初めて参加しました。全国の労働者の思いが繋がればいいですね」と感想を寄せてくれました。



③尾張北部地域・100人
④東三河集合・250人
⑤安城地区・230人



全組合員参加型の組合活動を大切に

自治労連 春日井学校給食労働組合に

発展改組

自治体一般春日井市学校給食会分会は、4月23日、第6回定期大会を開催し、単組として活動・運動していく方針案を提案し、満場一致で採択され、「自治労連春日井市学校給食会労働組合」に発展改組しました。給食会労組は07年に自治体一般の分会として結成されて以来、「みんなの要求、みんなで実現」を合い言葉に、全組合員参加型の組合活動をすすめてきました。その結果、給与是正や労使合意の尊重など組合員の声を活かして要求前進をすすめてきました。こうした活動実績を踏まえ、単組として独立して活動していくこととしました。

「どこに責任があるのか」「当局からパート職員について、正規と同じ仕事をしてほしいと言われたが、どこまでやってもらえばいいのかわからない」「職員が補充されないなかで、仕事が過重になってきている」など切実な声が聞かれました。

執行部答弁で「正規での人員要求や、職場改善など、どんどん現場から声を上げてください」とまとめ、「継続課題である賃金の引き上げ、初任給基準の見直しに該当しなかったものに対する問題解決、人員要求をすすめる。子どもたちに安全・安心な給食を提供し、安心して働きつづけられ、働きがいのある職場環境の確立をめざし奮闘する」と、運動方針を確立し新たなスタートを踏み出しました。

件や労働環境というのは、ほっといても使用者が気を使って整備してくれるものと思つたのですが、この4年間で分かったことは、現場で働く私たち組合員が声を上げていかないと良くなつていかないということです。これからもみんなで団結し、よりよい職場環境にするために声を上げていきたい」と決意を語つてくれました。

職場から
声上げてこそ
要求が前進

執行委員長の礪脇秀宏さんは「以前の私は、労働条件を踏み出しました。」

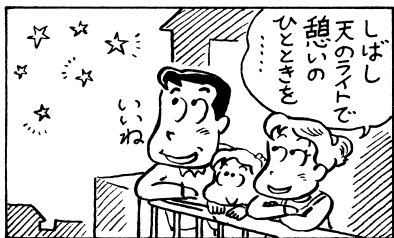
執行委員長 礪脇 秀宏
副委員長 菅野 弘美
書記 小島 弘嗣
計長 嶋田 恵美
山岸 弘定

公務市場化の矛盾を偽装請負の視点から問う
新刊 自治体の偽装請負 定価 800円
主な内容
1部 / 「自治体の偽装請負」とは何か
2部 / 「偽装請負」解決の運動の実際
申込先 自治体研究社 03-3235-5941



「言いたい劇場」

小菅りや子



ゴミの分別をわかりやすく説明する環境局のなかま



ペットボトルや牛乳パックもおもちゃに変身



手先が器用な用務員さんはパネルアートを披露

現評が なごやか ふれあいまつり



自治体の現業職場は 市民サービスの要!

市民生活を直接担っている自治体の現業職場の仕事を知ってもらうとくみとして、「なごやか ふれあいまつり」を4月30日、名古屋市の大型児童センター「とだがわ」でもらんど」の屋内施設で開催しました。

名古屋市の現業の仲間を中心に、犬山市職労や豊橋市職労など県現評も参加し、ゴミ分別収集のとりくみを始め、学校用務員の仕事紹介パネル・長イスの展示など、小学校・保育園の給食のレシピの紹介と試食会、犬との接し方や身近

な昆虫たちの紹介など、実際に見て、ふれて、食べて、楽しく学んでもらおうとくみされました。会場は親子連れが多く、ゴミ分別の紙芝居や、ワンちゃんとの触れ合いコーナー、給食試食会場では行列が出来る盛況ぶりでした。会場を借りる条件が労働組合の名前を出さないというところで、退職者不補充など現業職場の実態を伝えられないなど課題を残しました。県現評ではひきつづき、住民にむけて現業職場のアピールをしていくことにしています。

倉田過労死裁判 第5回公判

- とき 5月30日(月) AM13:30
- ところ 名古屋高裁 1001号法廷

自治労連共済の
火災共済は安い!
1口(耐火) 保障額
2.5円/月で最高10万円



記念講演をするダグラス・ラムス氏

沖縄のいま 憲法のいま

— 憲法施行64周年記念市民のつどい —

憲法施行64周年を迎えた5月3日、名古屋市公会堂で愛知憲法会議主催の「市民のつどい」が開催され、2000人の市民が集まりました。第1部は、沖縄民謡やエイサーが披露され、沖縄文化を満喫。第2部では、沖縄国際大学のダグラス・ラムス氏が「要石としての沖縄 憲法9条と日米安保のはざま」と題して講演しました。ラムス氏は、米軍基地問題を中心に日本人の憲法9条と日米安保を両立させている矛盾を鋭く指摘し、米軍基地がなぜなくなるか、カラクリを明らかにしました。



蒲都市職(写真右上)は4月28日、総勢81人が参加。西尾市職(写真左上)は、4月27日、組合説明会と歓迎会を開催。40人が参加。

笑顔がはじける 新入 組合員 説明会・歓迎会

岩倉市職(写真右下)では、69人が参加。犬山市職(写真左下)は、4月28日から泊まりで89人が参加し、学習会&歓迎会。



非正規労働者「誇りと怒り」 の声 束ね処遇改善へ

シリーズ4

劣悪な労働条件や雇い止め(解雇)について言いたいことは?

パートばかり増やして正規職員は減るばかり。正規職員の負担が大きくなっていく(給食調理) いつまで仕事ができるか不安。できるだけ長い間働きたい(一般事務) まだ声を表に出すことが出来ない(一般事務) 気軽に雇え、解雇しやすいパート職であつても職員同様に仕事をしていて、来庁される方はパートと正規を区別していない(わからない)。きちんと評価してほしい。待遇の改善を望む(一般事務) 臨時や嘱託員にも対等に組合は目をむけてほしい(嘱託員) 正規職員と同じ勤務時間で働いて、生活保護より安

第37回東海自治体学校

◆基調講演/白藤博行・専修大学教授

「今、憲法が求める自治体のあり方を考える」
— 東日本大震災をふまえて —

- 日時 5月22日(日) 受付9:30、開会10:00
- 会場 名古屋大学

本秀紀名古屋大学教授が、国会のつぎきなど直近の情勢を報告しながら閉会あいさつしました。

終